

鳥海高原での森林環境教育（西荒瀬保育園）

10月3日（金）、酒田市西荒瀬保育園年長組（そら組）園児33名を対象に、今年度第8回目の森林環境教育を鳥海高原にて実施しました。



講師に公益の森づくり支援センターの白壁洋子さんを招き、あいにくの雨の中、カリキュラムのメインとなる森林散策は実施できませんでしたが、環境省イヌワシみらい館での鳥類の紹介や、鳥海高原家族村でのネイチャーゲームを行いました。

最初に、環境省イヌワシみらい館を訪れ、鳥の鳴き声や、生態の話に園児たちは一生懸命聞きこ（イヌワシの巣に乗ってみました）んでいました。

館内の説明が終わり、園児たちがバスに戻ろうとした時、イメージキャラクター「ワッシーくん」が登場！

園児たちは一気に興奮状態。ワッシーくんを抱きついたり、大きな声で「ワッシーく〜ん」と呼びかけたり、大変喜んでいました。



（もみくちゃ状態のワッシーくん）



（何の動物かな？）

その後、園児たちはバスで鳥海家族村に移動、屋内での白壁洋子さんによるネイチャーゲームが始まりました。

4つのグループに別れた園児から、森に住んでいる動物の真似をしてもらうジェスチャーゲームや、白壁さんとセンター職員が雨の中集めてきた

葉を使った「はっぱカルタ」を行い、自分で取った葉っぱを大切に持ち帰りました。

今回の森林環境教育は、次回のプランター作成と山の種の植え付けにつながるカリキュラムで、種のドングリ等は、センター職員が採種してきました。

今年度、あと5回を残すところですが、園児たちの成長を見守りながら実施していきたいと思えます。



（葉っぱがいっぱい！）



（屋内でも、とても楽しかったです）